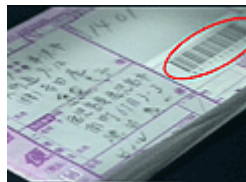


## ○ 配達便の管理 ○

1. 配達便は荷物を預ける際に、あて先と差出人の住所を明記した専用の伝票を荷物につけます。荷物を預かる人は、この伝票からまずバーコードを読み取ります。



読み取り



(ポータブルPOS端末)

バーコードはほかの荷物と重複しない、その荷物だけの番号が割り当てられていますので、集めた荷物に名前が付けられたことになります。これがこの荷物のIDとなります。このときに使われるのはポータブルPOSと呼ばれる小さな端末です。次に行き先コード、配達指定時間などの情報を入力します。

2. 集められた情報は集配センターに預けられます。

集めてきた荷物の情報をポータブルPOS端末からセンターのコンピューターに送ります。

この情報はコンピューターから荷物を管理している中央のコンピューターと行き先のコンピューターに送られます。これで荷物の管理体制ができあがりました。



(集配センターに集まった荷物)



(荷物の情報をセンターのコンピューターへ送る)



(本部から荷物の行き先に情報が送られる)

3. 荷物は自動仕分け機によって仕分けされます。コンベアーにのった荷物のバーコードからレーザースキャナーでIDを読み取り、どのトラックにのせられたかなどを記録します。

今度は配達先地域で荷物が仕分けされます。このときもバーコードに記載されている荷物のIDでコンピューターによって仕分けされます。このときもどのトラックにのせられたかなどの情報が記録されます。ですから、出した荷物が今どこにいるのか、いつごろ配達されるのかを荷物の番号を言うだけですぐに調べてもらえます。



(レーザースキャナーでのID読み取り)

4. 仕分けされた荷物は、各トラックに積み込まれ配送されます。



(トラックに積みこまれ、行き先に配達される)



(荷物は行き先に届けられる)

まとめ

バーコードのIDを読み取ってコンピューターに送るだけで、その情報が全国のコンピューターにつながるしくみになっています。反対に、中央のコンピューターから全国の集配センターに同じ情報を一斉に送ることが可能なのです。配達便の管理において、コンピューターは全国をつなぐ重要な役割を担っています。